

# 科目 血液学実習：病院実習 (Practice of Hematology)

担当教員 横田 浩充

## 【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

臨床血液検査が病院等でどのようにして実施されているか、また臨床検査技師が実際にどのように血液学的検査を行っているかを実地で学ぶことを目的とする。

＜教育目標＞

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

＜具体的な項目＞

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)  
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)  
 問題解決のために積極的に他者と協働する態度 (3)

## 【2】 授業計画

血液検査の基礎技術  
 血液の採取と検体の取り扱い方  
 血球に関する検査  
 白血球分類  
 血液疾患の検査値、形態学的検査を学ぶ  
 血液凝固に関する検査  
 線溶系に関する検査  
 病院検査部門における血液検査室の業務について学ぶ

## 【3】 到達目標

1. 血球に関する検査を行うことができ、検査結果について評価することができる。
2. 血液凝固系に関する検査を行うことができ、検査結果について評価することができる。
3. 線溶系に関する検査を行うことができ、検査結果について評価することができる。
4. 病院の組織、機構を含む全体の業務について説明することができる。

## 【4】 授業概要

臨床血液検査の実践について、病院で実習を受ける。東邦大学医療センター大森病院、大橋病院、佐倉病院等の臨床検査部長および技師長・主任が担当する。

## 【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

血液学、臨床検査総論Ⅰの授業で使用した資料・教科書を用いて予習（2時間）しておくこと。  
 実習終了後は復習（1時間）として見直して確認すること。

## 【6】 教科書・参考書・参考資料

- 「教科書」標準臨床検査学 血液学（医学書院）  
 「教科書」最新臨床検査学講座 血液検査学（医歯薬出版）  
 「参考書」病気が見える⑤血液  
 「参考書」人体の正常構造と機能 改訂第2版（日本医事新報社）  
 「参考書」臨床検査法提要（金原出版）

## 【7】 評価方法およびフィードバック

臨地実習先での評価シート（70%）および臨床検査課程で課する報告書（30%）により評価する。提出されたレポートはコメントが付記されるので復習すること。

## 【8】 オフィスアワー

臨地実習先にて、随時担当者が対応する。  
 横田：月、火、木の15時以降

## 【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

動物生理学 臨床血液学

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床特別講義

## 【10】 その他

臨地実習先での実習のため、身なりを清潔に指導者に対して感謝の気持ちを持ち、言葉づかいも丁寧なことに。社会の一員としての自覚を持って実地に学んでいただきたい。